

地域の未来のために

高校振興への取り組み

高校振興取組みの背景

近年、少子化により生徒数が定員に満たない学校の統廃合が進められています。地域に高校が無くなると、地域活力の低下や人口流出といった問題が現れます。

県立只見高等学校は、昭和39年の開校から地域の人材育成に重要な役割を果たしてきました。

平成14年から高校の振興対策として、山村教育留学制度を開始しました。平成16年度には、留学生を受け入れる寮として「奥会津学習センター」を整備し、平成31年度までに175名の山村留学生を受け入れています。

山村教育留学生は、令和2年度6月現在で只見高校の全校生の3割を占め、只見高校の存続と、生徒たちが切磋琢磨しながら成長するための大切な存在となっています。

山村教育留学制度の充実と高校の魅力化

山村教育留学制度のような全国的に生徒を募集する高校が増加していることから、只見高校の留学生の数は伸び悩んでいる状況にあります。只見高校を進学先として選んでもらうためには、他の高校とは違った魅力があることを伝えなければなりません。

只見高校では、高校と只見町教育委員会、地域が連携した魅力ある教育の実現を目指し、次のような取り組みを実施しています。

①「総合的な探究の時間」を実施

高校の「総合的な探究の時間」は、地域と関わり、地域の方々に先生として、自分の興味、やりたいことをどのように実現していくかを突き詰め、結果として地域や社会に貢献していくことを考える時間です。

生徒の意欲と、地域の応援する気持ち共鳴して、生徒本人と関わった地域の方々が互いに学び合いながら、周囲にも魅力として伝播していく活動を目指しています。(関連記事P4)。

また、小中学校で進めているESD(豊かに持続する社会を担う人材を育てる教育)が、地

◀心志塾で学習する高校生



◀取材を受けた山口さん(山村留学生)・・・KFB 福島放送「スポチヤン」より



この只見町があったから自分たちが成長できたという実感があるので

他にもこんな
施策があります!!

	高校振興の主な財政的施策
部活動支援	大会遠征等バス運行費、部活動諸経費、 コーチ・監督への謝礼金等の補助
大学等進学者 への補助	模擬テスト代、夏期講習会等費用、 進路対策等の費用等の補助
就職支援	夏季公務員ゼミの開催、資格取得等の補助
短期海外留学 の実施	2～4名の生徒を2週間の 現地英会話学校へ派遣
外部講師による キャリア教育研修	地元講師への謝礼等の補助
受験支援、 教材の整備	受験に係る交通費、教材整備費用の補助

福島県立口八見高等学校



域の方々を通して高校にも活かされ、つながって発展していくように支援していきます。

② 放課後学習をサポート「SUBAKI(ツバキ)ゼミ」

只見高校と町教委が連携をして高校内に、授業の予習・復習をしたい生徒、帰りのバス時間まで有効に勉強をしたい生徒が集まって学習できる場所を作りました。教育振興協力が生徒一人二人の勉強が効率よく進められるようにサポートします。

③ 公営塾(心志塾)

日々の教科学習に加えて、定期考査前の課題、大学受験、公務員試験受験等の生徒が取り組みたい学習を幅広くサポートしています。

地域未来留学への参画

「地域みらい留学」とは、都道府県の枠を越えて地域の高校に入学し、充実した3年間を送る制度です。新しい土地で寮生活等を送ることにより、高校進学の新たな選択肢として、注目を浴びています。単なる生徒の募集活動に終わらず、地域の高校の取り組み、魅力づくりを学びながら、只見町と只見高校の魅力を生徒と共に発信していきます。

心志塾のQ&A	
[Q] 部活動で時間がないから通えない…	[A] 心志塾は、平日20時30分まで開いているので、部活動後も通えます!
[Q] 学校から出された宿題が解けない!	[A] 大丈夫! 手伝います!
[Q] 過去の復習もできますか?	[A] できます! 個人のペースでチャレンジしましょう!
[Q] 大学受験を目指しています!	[A] 目標に合わせて、一緒に学習を進めていきます。
[Q] 勉強のやり方がわからない…	[A] やり方の指導も行います! 講師と一緒にお手伝いします!



地域の運動会に参加する山村留学生と地元高校生たち



地域の子どもにプレゼントを配る山村留学生と地元高校生